

五十嵐裕貴 黒木器展

二〇一六年 四月二日(土) ～ 十一日(月)
会期中無休



料金後納
ゆうメール

いがらし ゆうき
五十嵐裕貴 黒木器展
二〇一六年 四月二日(土) ～ 十一日(月)
作家在廊日 四月二日(土)・三日(日)

会期中無休 営業時間 十一時～十八時

木工作家・五十嵐裕貴さんの初個展です。木工旋盤で作られた墨仕上げの黒い木器。木の節や腐食をそのまま活かし、旋盤で薄く挽いた回転体。精確に形を整えることよりも、作者の呼吸のリズムを優先し、木工かんなどで削り出していきます。それは粘土をろくろで挽く感覚と似ています。作り過ぎず、どこで止めるかが肝心。そうすることで運動体の伸びやかな流れが活かせるのです。木の息吹を読みながら、存在感ある形を捉えること。それが五十嵐さんのセンスでしょう。今回大ぶりの黒色の木器を代表に、壺・花器・盆・鉢・椀をご覧頂けます。

まだ30代前半の五十嵐さんですが、訓練校で木工を学んだ後は、家具を作る会社に職人として働いていました。2010年に独立してからは、家具やテーブルウェアを制作。当初は日常性を重視した柔らかな作風が主でしたが、近年、木の持つ生命をそのまま感じる造形に魅かれ、プリミティブな様相の木器を中心に制作しています。いずれも実用を前提とした器ですが、それ以前に物体として強い存在感に引き付けられる事と思います。

この個展にかける思いも強く、長野の標高の高い村の古民家で氷点下の厳しい冬の間も、ひとり黙々と製作に励んでくれました。ギャラリーとして初めての個展を迎えることは、大変な喜びであるとともに、大きな責任も伴います。多くの皆様にご覧頂き、ご助言を賜ることを願うばかりです。ちょうど桜の開花の頃、新年度に相応しい初々しい個展を是非ご高覧ください。

店主

- 1984年 千葉県茂原市生まれ
- 2008年 東京の職業訓練校にて木工を学ぶ
- 2009年 岐阜県の家具メーカーにて家具を作る
- 2010年 埼玉県川口市の家具工場にて家具を作る
- 2010年 埼玉県川口市にて独立
- 2014年 長野県南牧村に移住し、工房を構える
- 2016年 現在、同地にて製作

ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6
TEL 049-298-8715
MAIL utsuwanote@gmail.com



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり] ～ [喜多院前]
駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス] ～ [喜多院]
車：ギャラリー専用の新駐車場は北側(5～8番)

